

平成27年度事業報告・収支決算が承認 ～理事会・評議員会の開催～

6月8日に開催されました平成28年度第1回理事会及び6月27日開催の第1回評議員会において、平成27年度の事業報告及び収支決算等が決議・承認されました。また、第1回評議員会で評議員、理事及び監事の選任が行われました。

◆第1回理事会の決議事項

- 1 平成27年度事業報告及び収支決算（案）について
- 2 平成28年度第1回評議員会の招集について

◆第1回評議員会の決議事項

- 1 平成27年度事業報告及び収支決算（案）の承認について
- 2 評議員の選任（案）について
- 3 理事の選任（案）について
- 4 監事の選任（案）について

役員人事のお知らせ

平成28年6月27日付で評議員を選任

- 新任** 上田 正人（東京地下鉄株式会社 需要創出・マーケティング部部长）
秋津 修祐（三井住友海上火災保険株式会社 金融公務営業推進本部広域法人部長）
- 退任** 小川 孝行（東京地下鉄株式会社 鉄道本部 営業部長）
野村 義人（三井住友海上火災保険株式会社 金融公務営業推進本部前広域法人部長）
- 任期** 平成30年度に関する定時評議員会の終結の時まで
- 理由** 評議員の辞任に伴う選任

平成28年6月27日付で理事を選任

- 新任** 石井 敏子（一般社団法人日本旅館協会東京 都支部 支部長）
三橋 和夫（東京ガス株式会社 秘書部長）
常松 恭一（株式会社三越伊勢丹ホールディングス 執行役員業務本部総務部長）
- 退任** 今井 明男（東京都ホテル旅館生活衛生同業組合 顧問）
柴田 陽一（東京ガス株式会社 前秘書部長）
武藤 隆明（株式会社三越伊勢丹ホールディングス 前執行役員業務本部総務部長）
- 任期** 平成28年度に関する定時評議員会の終結の時まで
- 理由** 理事の辞任に伴う選任

平成28年6月27日付で監事を選任

- 新任** 西尾 昇治（東京商工会議所 常務理事）
- 退任** 高野 秀夫（東京商工会議所 前常務理事）
- 任期** 平成30年度に関する定時評議員会の終結の時まで
- 理由** 監事の辞任に伴う選任

シンガポールの報奨旅行グループが東京を満喫



5月5日から2泊3日の日程で、シンガポールの大手生命保険会社約200名が報奨旅行で東京を訪れました。2日目は小グループに分かれ、今回特別に用意された東京マップを手に都内を探検、指定されたラーメン屋や回転寿司を廻り、最後はホテルで東京クイズなどに挑戦してチーム毎に早さを競う「Real Oishii Race」と題したチームビルディングを行いました。また、最終日の夜は、ヒルトン東京でコスプレをテーマにしたガラディナーが行われ、日本のアニメをテーマに思い思いの衣装で着飾った参加者が、会場に登場した日本のコスプレイヤーとの撮影を楽しみました。

本ガラディナーに当財団が派遣した和太鼓チームは迫力ある演奏で登場、和太鼓の音色が会場に響き渡ると参加者もリズムに合わせて手拍子を楽しみ、大いにパーティーを盛り上げました。（コンベンション事業部）

中国からの大規模インセンティブツアーを 東京に誘致

5月末より4泊5日の日程にて、中国企業の大規模インセンティブツアーが開催され、中国より約1,000名が東京に集合しました。当財団では、事前視察を始め、ギブアウェイ、空港出迎え、アトラクションの派遣等を行い、本ツアーの成功に向けた支援を行いました。

ウェルカムパーティーは「浅草花やしき」を貸し切っで行われました。今回、台東区及び江東区の全面協力のもと「ゆるキャラ」4体が参加者到着時のお出迎えや写真撮影を行い、一緒に撮影を行う参加者で混雑する程大好評でした。





最終日はホテル椿山荘東京にてガラディナーが開催され、当財団からは着物レディー、阿波踊り、アイドルグループを派遣しました。ディナー開始のサプライズとして始まった阿波踊りは、宴会場後方より登場、参加者テーブルの間を練り歩きながら舞台上がり、オープニングを大いに盛り上げました。また、アイドルグループは企業の社歌をダンスの振り付きで披露し、宴会に華を添えました。

今回のインセンティブツアーの誘致及び受入に当たり、当財団では地元自治体や都内民間事業者と様々な調整を行いました。誘致段階から長期に渡り支援した結果、ツアーを催行した旅行会社のフィードバックでは「期待以上の満足度だった、また主催者も同じ気持ちである」とコメントを頂き、ツアーは大成功に終わりました。

(コンベンション事業部)

今後もこのような取組を推進することにより、国際会議開催都市としての東京のプレゼンス向上を目指します。
(コンベンション事業部)

中小規模から超大型まで、国際会議の助成対象を拡大

当財団では、国際会議の更なる東京への誘致を目的として、「コンベンション誘致・開催支援事業」により、東京が開催候補地となっている一定の基準を満たした国際会議の主催者に対し、その誘致活動経費及び国際会議の開催資金への一部助成や開催を支援するプログラムを提供しています。今年度より、誘致資金及び開催資金の助成の上限額を引き上げ、特に大規模な国際会議に対する支援を強化するとともに、支援対象要件の外国人延泊数を400泊以上に引き下げ、中小規模の国際会議にまで支援対象を拡大しました。いずれも開催地決定前に申請・登録が必要となります。詳しくは、コンベンション事業部のウェブサイトをご覧ください。

<http://businesseventstokyo.org/ja/>

(コンベンション事業部)

MICE開催地、東京を世界にPR

コンベンション事業部では本年4月より、鮮やかな色合いでモダンかつトラディショナルな東京を表現した新デザインにて、広告を展開中です。プランナーが「東京を選ぶ理由」を散りばめた本ビジュアルは年間を通じて海外のMICE専門誌やトレードショー媒体などに掲載され、Corporate Events向けに最適な開催地・東京をPRします。

(コンベンション事業部)



台湾旅行博出展



5月20日から4日間、台北世界貿易センターで行われた台北国際観光博覧会 (TTE) にイオンリテール、クリエイティブ・レストランツ、ビックカメラ、和テンション及び東京ワンピースタワーの5社と共に出展しました。初日は台湾総統の就任式と日程が重なったものの、多くの台北市民が会場に押し寄せ、昨年を超える29万人の来場者で賑わいました。東京ブースは直径3m程度の円柱のLEDを回転させ、来場者の名前+「&TOKYO」や共同出展者名+「&TOKYO」を表示させるという大掛かりな装飾と、Exciting、Uniqueといったブランドテーマ毎の魅力的な写真を使ったブースで、大きな注目を集めました。

また旅行博に先立ち5月19日には、現地旅行会社とメディアを招待した東京観光セミナーを台北アンバサダーホテルにて開催し40社53名の参加がありました。共同出展者と共に、東京の最新情報や穴場スポットを伝え、今後もインバウンド市場で大きなウェイトを占める台湾において、訪都機運の向上に努めました。(観光事業部)

国際会議運営のプロが都内視察

当財団では、昨年度に続き、コアPCO (国際会議企画運営会社) の招聘事業を年間5回予定しています。今年度の第一弾として、6月15日～19日まで、テルアビブの国際会議運営会社CongressMedより2名を招聘しました。CongressMedはWorld Congress on Controversies in Breast Cancer (CoBrCa) の他、複数の医療系会議を主催・運営しています。滞在中は会議場、宿泊施設、観光施設の視察及び都内の関連事業者5社9名との意見交換会等を実施し、東京への理解を深め、都内事業者とネットワークを構築してもらう良い機会となりました。



東京観光レップ 海外市場セミナー&市場別相談会

6月2日に世界12ヶ国の東京観光レップによる海外市場セミナー&市場別相談会を開催し、約140名の方々にお

越し頂きました。セミナーでは、テーマを「訪日・訪都旅行のポテンシャルの活かし方」とし、テーマに沿ったパネルディスカッション、市場報告がレップによって行われました。ロンドン、パリ、ミュンヘンのレップに加え、芸術公社のアンドリューズ氏をゲストパネリストにお迎えしたディスカッションでは、東京のアートが持つ観光資源としての可能性について意見交換が行われました。また、ゲストに(株)新日屋の代表取締役山口氏をお迎えしたものでは、シドニー、北京、ソウルのレップが活動する各都市で人気の体験型プログラムの紹介をすると同時に、東京で人気となる可能性をもつ体験型プログラムについて話し合われました。他にも北米4レップが東京の商店街にフォーカスしたディスカッションを行うなどし、都内事業者に対して海外視点での情報発信の場となりました。



併せて行われた相談会では、レップが各市場に対する事業者からの個別相談を受け大変盛況でした。
(観光事業部)

韓国旅行博出展

6月9日から4日間、韓国KINTEXで行われたハナツアー旅行博覧会(HITS2016)に出展しました。例年3日間の開催ですが、今年は10周年を記念して4日間の日程で開催され、非常に多くの人で賑わいました。東京ブースは台湾と同様、曲線的なデザインのブースに円形の大型LEDパネル看板を使用し、先進的な都市というイメージをPRしました。また、ブランド映像の放映や千社札のデザインシールに来場者の名前を入れて配付するイベントを実施し大変好評でした。

旅行博の前日(6月8日)には、現地旅行会社とメディアを招待した東京観光セミナーをソウルプレジデントホテルにて開催し41社59名の参加がありました。なお、本旅行博・観光セミナーは、京王電鉄、テレコムスクエア、東京都交通局、東京ワンピースタワー及び三越伊勢丹ホールディングスの5社と共同出展しました。(観光事業部)



第1回TCVBミーティング開催 (アジアセールス・ミーティング①)

6月21日、当財団5階会議室にて、これまでの「委員会

より名称等を変更した第1回TCVBミーティング(アジアセールス・ミーティング①)を開催しました。今回は、来年1月末に東京都主催で観光プロモーション



を予定しているインド市場にテーマを絞り、講演を頂きました。日本政府観光局(JNTO)の高野氏からはインド市場全般について数字を交え、赴任の経験談と共にご紹介頂きました。在日30年のインド人 サニー フランシス氏からは、地域によっても異なるインド人の特徴と、そのようなインド人をどう受け入れたら良いかといった点を軽快な口調でお話し頂きました。その他、賛助会員からの情報共有として、ナビタイムジャパンの大谷氏よりインバウンドに対する取組を、ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町の柴田氏より7月開業のホテルについてお話し頂きました。今回から参加が可能となった会員以外の方を含め、賛助会員を中心に70名を超える参加を得て活況を呈しました。次回のアジアセールス・ミーティングは10月に開催を予定しています。(観光事業部)

&TOKYOを活用した 共同企画商品発売スタート!

東京都は世界一の観光都市への飛躍を目指した様々な取組を進めていますが、その取組の一環として、6月7日(火)より、国内外に向けて旅行地としての東京を強く印象づける「東京ブランド『&TOKYO』」活用した企画商品が発売されました。

【東京ブランド共同企画商品(平成27年度選定)】

- ① 株式会社CUC
サポート

「EDO&TOKYO
オリジナル商品
(風鈴・扇子・手ぬぐい)」



- ② ホットマン株式会社

「1秒タオル(フ
ェイスタオル・
ハンドタオル・
バスタオル)」



- ③ キリンビール
株式会社

「東京限定ビール
キリン一番搾り
『東京づくり』」



(観光情報課)

「東京ブランド推進プロジェクト」が決定！

東京ブランドの普及・浸透のため、民間事業者と連携した「東京ブランド推進プロジェクト」を募集し、以下の5プロジェクトを採択しました。()内は提案の代表者です。

- ・ Welcome To Ikebukuro & Tokyo(池袋インバウンド推進協力会)
- ・ 東京都内の学園祭を活用した東京ブランド推進プロジェクト (株)ぐるなび)
- ・ SHINJUKU SHARE LOUNGE & TOKYO ((一社)新宿副都心エリア環境改善委員会)
- ・ 金魚&TOKYO (すみだ水族館)
- ・ 日経FORUM & TOKYO (仮称)(日本経済新聞社)
(観光情報課)

新宿南口・東口エリアで街なか観光案内開始！

おもてなし東京(東京都観光ボランティア)は、7月8日(金)より、新宿南口・東口エリアで街なか観光案内活動を開始しました。街なかで訪都旅行者に積極的に声掛けを行い、観光案内や周辺情報の提供を行う本活動の実施場所として、ニーズの高い新宿南口・東口エリアは、昨年度開始した上野及び新宿西口エリアに次いで3か所目となります。今後街なか観光案内は、外国人旅行者が多く訪れるエリアに拡大していく予定です。(観光情報課)

宿泊施設の バリアフリー化を支援します

東京を訪れる高齢者や障害のある方などに、安全かつ快適に過ごしていただけるよう、バリアフリー化に取り組む宿泊事業者に対し、施設整備等に要する経費の一部を補助します。

このたび、今年度の募集を開始しましたので、この機会にぜひご活用ください。

～宿泊施設バリアフリー化支援補助金～

- (1) 補助対象者 都内の民間宿泊事業者
- (2) 補助対象経費 バリアフリー化を推進するための、施設整備(改修等)やコンサルティングに要する経費
- (3) 補助額 補助対象経費の2分の1以内で、以下の額を限度
 - i 施設や設備のバリアフリー化整備(改修等) 500万円
 - ii ユニバーサルデザインルームの改修 700万円
 - iii コンサルティング 25万円※ただし、複数の補助を合わせて受ける場合には以下の限度額
 - ①上記iとiii 500万円
 - ②上記iiとiii 700万円
- (4) 募集時期 平成28年6月14日から平成29年2月15日まで
(ただし、補助金申請額が予算額に達した時点で受付終了)

詳細については、下記担当までお気軽にお問い合わせください。

- (問合せ先) 地域振興部観光インフラ整備課
TEL: 03-5579-8463 担当: 石原・横井
(観光インフラ整備課)

リフト付観光バスの導入の支援を開始

国内外から多様な旅行者を迎えるに当たり、障害者や高齢者が、安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、主要な交通インフラである観光バスについて、乗降用リフト装置付車両の導入を支援します。

～観光バスのバリアフリー化支援補助制度の概要～

- 1 補助事業内容 リフト付観光バス車両の導入に係る経費の助成
- 2 補助対象者 都内に営業所があるバス事業者等
- 3 補助対象経費 リフト付観光バスの導入に当たり、通常車両と比べリフト付車両とした場合の価格の増加部分に係る経費
- 4 補助額 補助対象経費について、1台当たり1,000万円を限度
- 5 募集期間 平成28年6月14日(火)から随時受付
※平成31年度まで申請可能です。ただし、募集期間中であっても、補助金申請額が予算額に達した時点で受付を終了します。
- 6 申請方法 規定の申請書に必要事項をご記入の上、郵送又は持参により提出
- 7 その他 申請書類等のダウンロードについては、東京都産業労働局ホームページ(<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/tourism/kakusyu/bus/>)をご覧ください。

詳細につきましては、下記担当までお問い合わせください。

- (問合せ先) 地域振興部観光インフラ整備課
TEL: 03-5579-8463 担当: 深田・中島
(観光インフラ整備課)

第2回TCVBミーティング「一歩先のおもてなし！ 現場と考える障害者差別解消法」開催

6月28日フクラシア東京ステーションにて第2回TCVBミーティング「一歩先のおもてなし！現場と考える障害者差別解消法」を開催し、宿泊施設、旅行会社、区市町村担当者等、多数ご参加いただきました。

セミナーでは、株式会社JTB総合研究所の若原圭子氏に「超高齢社会である日本の現状について」と題し、統計などをもとに、世界に例をみない速度で高齢化が進行している日本の目指すべき社会像について講演いただきました。

続いて、株式会社ミライロ及び一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会にて講師としてご活躍されている岸田ひろ実氏に「障害者差別解消法とユニバーサルマナー



から考えるおもてなし」と題し、4月に施行された障害者差別解消法について具体的にどのような対応が求められるのか、車椅子ユーザーである自身の実体験も踏まえながら本当に必要なおもてなしとはどんなことなのかを講演いただきました。

また、株式会社JTB総合研究所室井孝王氏、株式会社住庄ホテル角田隆氏、前述の岸田氏と共にパネルディスカッションを実施しました。さまざまな参加者の質問に答え、「現場」と考えるミーティングを行いました。

インバウンドについてもさることながら、今回のミーティングのテーマに関わるユニバーサルツーリズムについては、今後ますます注目される分野です。当財団としても、今後より一層の機運醸成を図っていきます。

(観光インフラ整備課)

観光資源商品化支援事業の実施について

当財団では、昨年度に引き続き各地域が磨き上げている観光資源のうち、未だ商品化に至っていない観光資源に対する旅行商品化に向けた支援を実施します。

具体的には東京都内の観光関連団体等から企画案を公募し、選考を通過した企画に対して当財団及び旅行商品造成に知見・ノウハウを有する専門家が旅行商品化に向けた各種支援（課題の整理・解決策の提示、旅行商品の造成・販売など）を行います。

昨年度は檜原村と八丈島で2件の商品化支援を実施しました。なお、支援に至らなかった企画につきましても、ご希望に応じ旅行商品化に向けたアドバイス等を随時行います。

(地域振興部)

第3回TCVBミーティング 「街を活かす、街を楽しむ」開催

7月12日、都内各地の観光協会や区市町村の観光主管課の職員、当財団の賛助会員など、27社・団体から34名の参加のもと、第3回TCVBミーティングを開催しました。

今回は、公益財団法人日本交通公社の吉澤清良氏を講師にお招きし、「街を活かす、街を楽しむ～地域の連携と協働、各地のまち歩きについて～」というテーマでお話を伺いました。吉澤氏は、「観光・交流による地域活性化」「温泉地の活性化」「人材育成研修」等の企画・運営を専門領域とされており、当日は、観光振興に連携して取り組む際の効率的な方法や各地で成功した、まち歩きの事例紹介などがあり、非常に興味深い内容のお話でした。

(地域振興部)

東京シティーガイド検定

○第14回検定試験について

日時：平成28年11月27日（日）午後2時から

詳細は8月上旬に東京の観光公式サイトGO TOKYOにて発表します。

○第13回検定試験実施結果

・受験申込者 1,320人 ・受験者 1,206人
・合格者 861人 ・合格率 71.4%

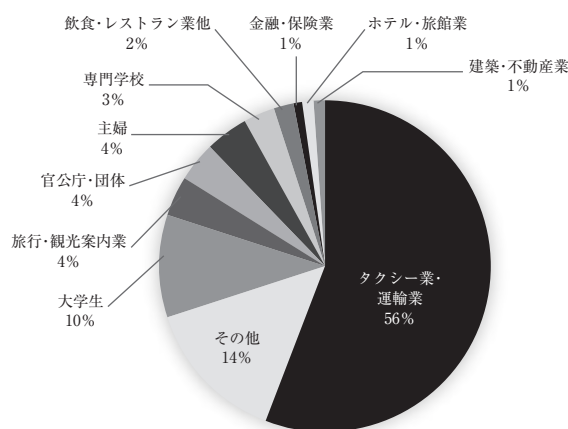
○第13回検定受験対策セミナー受講者試験結果

・受験者数 216名 ・合格者数 171名
・受講者合格率 83.0%

○過去問題にチャレンジ!

東京（江戸）についてどのくらいご存じですか？第13回東京シティーガイド検定試験問題から抜粋して2題を出題！（答えは最終ページ枠外）

第13回受験者職業別内訳



第1問 次の文中の【1】～【3】の部分に、下の選択肢のうちもっとも適切な用語を選んで、その番号をマークしてください。

日本橋や銀座界隈にあった歌舞伎の芝居小屋は、水野忠邦の天保の改革によって遠く浅草の北に移転させられ【1】町と名乗る一大芝居町が成立した。明治になると演劇改良運動に熱心だった福地源一郎が中心となって木挽町（今の銀座）に開設した【2】は、歌舞伎専用劇場として重要な拠点となった。

その後、日本の伝統芸能・大衆芸能を上演する国立の劇場として大きな役割を果たしているのは、東京メトロの半蔵門駅からほど近い【3】で大劇場は歌舞伎、小劇場は文楽や邦楽芸能などが行われている。

[選択肢]

- 【1】①葺屋 ②堺 ③猿若 ④吉原
【2】①市村座 ②歌舞伎座 ③中村座 ④森田座
【3】①国立演芸場 ②国立劇場 ③国立能楽堂
④新国立劇場

第2問 次の文中の【4】、【5】の部分に、下の選択肢からもっとも適切な用語を選んで、その番号をマークしてください。

室町時代の関東は、白井城（群馬県）の山内上杉氏と河越城・岩付（槻）城（埼玉県）の扇谷上杉氏、古河城（茨城県）の古河公方の三つ巴状態であった。扇谷上杉氏の家臣【4】が築城したのが江戸城であった。【4】の死後、江戸城は小田原の【5】の支城となった。

[選択肢]

- 【4】①江戸重長 ②大田道灌 ③平国香 ④藤原秀郷
【5】①足利氏 ②新田氏 ③北条氏 ④松平氏

(地域振興部)

●今後の事業予定●

東京ブランド推進プロジェクト募集開始	7月中旬
Travel Revolution出展（シンガポール）	8月19～21日
第14回東京シティーガイド検定	9月1日受付開始
ITE-HCMC出展（ベトナム・ホーチミンシティ）	9月8～10日
ツーリズムEXPOジャパン	9月22～25日
ガルーダトラベルフェア出展 (インドネシア・ジャカルタ)	10月7～9日
WTM出展（ロンドン）	11月7～9日
CITM出展（上海）	11月11～13日

新 会 員 紹 介

コートヤード・バイ・マリオット 東京ステーション
<http://www.cytokyo.com>
 事業内容：コートヤード・バイ・マリオット 東京ステーションは、快適がデザインされた新しい時代のホテルです。個性的なコンセプトによるスタイリッシュな空間、現代ニーズにフィットする快適なサービス、そして軽快なフットワークを可能にするアクセス至便なロケーションが、スマートなりフレッシュを提供します。

アデコ株式会社 <http://www.adecco.co.jp>
 事業内容：人材サービスのグローバルリーダーであるアデコは、世界60か国と地域に5,000拠点のネットワークを展開し、企業の事業活動をサポートしています。人材を紹介するサービスにとどまらず、業務改善や人材育成、人材開発、組織の健康管理など、雇用や人事に関するあらゆるご要望にお応えするトータルソリューションを提供しています。

Publicitas Japan 株式会社 <http://www.publicitas.com/japan>
 事業内容：スイス、チューリッヒに本社を置くパブリシタスは、世界20か国以上に営業拠点を持つ国際的なメディア・セールス会社です。1890年の創業以来、パブリシタスは世界100か国以上で主要なメディアを代表し、あらゆるメディアやイベントを通じてのメディアソリューションを世界各国に提供しています。

株式会社ノース・リバー <http://www.northriver.co.jp/>
 事業内容：私共は、運送事業としてハイヤー・観光バス・トラックなど様々な車両による送迎や運送など、多岐にわたる用途に対応可能でございます。また、第三種旅行業資格を所持しており、貸切バス手配サイト「くるばす」の運営及び、日本全国の各種車両（大型・中型・小型バス・ハイヤー等々）の手配もすべて請け負っております。

一般社団法人新宿観光振興協会 <http://www.kanko-shinjuku.jp>
 事業内容：新宿観光振興協会は、新宿のまちが持つ多様な魅力を総合的に発信し、創造性に溢れたまちとして持続的に発展していくために、企業、団体、行政の枠組みを超えて地域一丸となって観光情報誌の発行やにぎわい創出イベントなどの観光事業に取り組んでいます。

アイディーテンジャパン株式会社 <http://id10.jp/>
 事業内容：
 I 日本のブランド力を生かした海外需要発掘・販路開拓の企画
 II 日本のものづくり・食・伝統・文化・観光の国内事業者の海外営業を強くする「海外PR」「海外テスト販売」に特化したBtoBtoC向け会員サービス（JAPANPAGE.net）の運営 ※2016年9月リニューアル
 III 訪日直前4時間のブランディング・告知・誘客施策を支援するLCC広告の販売

ハイアット リージェンシー 東京 <http://tokyo.regency.hyatt.jp>
 事業内容：日本初のハイアットホテルとして、1980年新宿新都心に開業。746室の客室、8つのレストラン・バー、大中小の宴会場、スパ・プール・フィットネスジムを完備し、ビジネス&レジャーのお客様をお迎えします。

江東区 <http://www.city.koto.lg.jp/>
 事業内容：隅田川、荒川、東京湾に囲まれた水彩都市。下町情緒あふれる深川・城東エリア、未来型の都市整備が進む湾岸エリアになります。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、全区市町村で最多の競技が行われます。

株式会社グラシヤ <http://www.gracia.co.jp>
 事業内容：ブランディングからプロモーションまでトータルにサポート、PDCAが機能するご提案をする会社です。会社理念である「共に心と同じくし、力を合わせ、仕事に力を尽くし怠らず、結果として仲間やお客様から感謝され、社会から存在を期待される企業であることを目指す。」をモットーに、御依頼内容に対して弊社が何を達成できれば成功なのかを予め明確にし、広告・販促・カタログ・WEB・動画などの手法を通じ、クライアント様からの「有難う」を頂くために活動しています。

株式会社キャニオンズ <http://canyons.jp>
 事業内容：キャニオンズは日本におけるアウトドアアドベンチャーツアーのパイオニアとして、技術・装備・施設・安全・エンターテイメント・教育・カルチャー・収益などのあらゆる側面において、国際的な基準を掲げ、更なる挑戦（アドベンチャー）を続けています。多国籍な言語対応可能です。日本一のキャニオニング提供会社としても知られています。主催ツアー：
 ・キャニオニング・ラフティング・バックラフト・ケイビング
 ・スキーレッスン・バックカントリースキー&スノーボード

株式会社シュゼット <http://www.suzette.co.jp>
 事業内容：1969年、兵庫県芦屋市にて創業。喫茶、テイクアウトの生菓子の販売から事業を開始し、現在は百貨店をはじめ幅広い販売チャネルの「アンリ・シャルパンティエ」と駅ナカ、駅チカ店舗も多く構える「C3（シーキューブ）」の2つの洋菓子ブランドを展開しています。焼菓子・生ケーキの製造販売ほかカフェ事業を手がけています。創業以来、商品企画から販売にいたるまで一貫して自社でプロデュースする体制を敷き、ブランド構築やお菓子のOEM生産などさまざまな事業を推進しています。

株式会社マーサ・アンド・カンパニー <http://www.maasa.co.jp>
 事業内容：消費財（化粧品・ヘルスケア・ホームケア製品）とフード&ビバレッジに特化し、ブランド開発・eコマース開発、業務オペレーション、商社流通業務、子会社保有など日本市場もしくは海外市場への進出支援業務、輸入・輸出全般の貿易業務、アドバイザリー業務を行っています。また別事業として、西浅草「茶御飯東京」にて和食と日本文化のすばらしさを国内外に発信・拡散する目的から和食料理体験や日本茶文化体験のサービスを提供しています。

株式会社こたつ <http://cotatsu.co.jp>
 事業内容：弊社が企画運営するcotomart.com（コトマート）は「体験」を掲載・発見・予約することができるコミュニティ・マーケットプレイスです。ユニークな「体験」を通してその土地ならではの文化を学び、人々との交流を楽しむことができます。

サムライアーマーフォトスタジオ <http://samurai.bz>
 事業内容：戦国時代中心の鎧兜・甲冑専門の写真館です。着付けを通じて甲冑の機能や歴史的背景、当時の文化を説明し日本独自の美意識や機能美を体験していただけます。1時間半のうち着付け取り外しで約20分、1時間の撮影で約10ポーズ150カットの写真を撮り全てSDカードにデータを入れてお渡しします。甲冑だけでなく中に着用する裁付袴や陣羽織、烏帽子など全て本物志向でこだわっております。

トッパン・フォームズ株式会社 <http://www.toppan-f.co.jp>
 事業内容：ビジネスフォームをはじめデータ・プリント・サービスや電子メディアなどさまざまな「情報ソリューションサービス」で、情報を最適なカタチに加工し、お客さまのもとへお届けしています。

UNPLAN神楽坂 <http://www.unplan.jp>
 事業内容：神楽坂駅から徒歩3分のUNPLANは、清潔で快適なドミトリールーム、個室など4タイプのお部屋を用意しています。1階のラウンジは誰でもご利用可能です。スペシャリティコーヒーやカクテルをお楽しみください。

平成28年7月1日付 幹部人事のお知らせ

幹部人事異動
 総務部長 影山 忠男

【発行元】
 公益財団法人 東京観光財団
 〒162-0801 東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル
 TEL: 03-5579-2680 FAX: 03-5579-2685
www.tcvb.or.jp E-mail: tcvbinfo@tcvb.or.jp

■本会報に関するお問合せ先 総務部観光情報課：TEL 03-5579-2681
 ■会報送付の追加、停止、送付先変更の連絡 memberinfo@tcvb.or.jp

▶▶▶ 過去問題にチャレンジ 正答				
第1問		第2問		
[1] ③	[2] ②	[3] ②	[4] ②	[5] ③